

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 20 年 3 月 6 日 (2008.3.6)

【公開番号】特開 2006-211283 (P2006-211283A)

【公開日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【年通号数】公開・登録公報 2006-031

【出願番号】特願 2005-20342 (P2005-20342)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

B 4 1 J 21/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/76 E

B 4 1 J 21/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記憶手段に保持された動画像データからユーザにより選択された動画像データに含まれる複数のフレームを記録用紙に並べてプリントするプリントシステムにおいて、前記記録用紙のサイズに応じてプリントすべきコマの数を決定するコマ数決定手段と、前記選択された動画像データから複数のフレームを抽出するフレーム抽出手段とを備え

る前記フレーム抽出手段は、前記コマ数決定手段により決定された前記記録用紙のサイズに応じたコマ数のフレームを抽出することを特徴とするプリンタシステム。

【請求項 2】

前記プリンタシステムは、前記選択された動画像データの総フレーム数を取得する総フレーム数取得手段をさらに有し、

前記抽出手段は、前記取得された総フレーム数が前記決定されたコマの数よりも少ない場合に、前記選択された動画像データの全フレームを抽出することを特徴とする請求項 1 に記載のプリンタシステム。

【請求項 3】

前記コマ数決定手段により決定されたコマ数は、前記記録用紙の 1 枚にプリント可能な最大コマ数であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のプリンタシステム。

【請求項 4】

前記フレーム抽出手段は、前記選択された動画像データの最初のフレームを含む複数のフレームを抽出することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のプリンタシステム。

【請求項 5】

前記フレーム抽出手段は、前記選択された動画像データの最後のフレームを含む複数のフレームを抽出することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のプリンタシステム。

【請求項 6】

前記プリンタシステムは、前記選択された動画像データを再生する再生手段と、当該再

生中の動画像データをユーザからの指示により一時停止する一時停止手段とをさらに備え、

前記フレーム抽出手段は、前記一時停止で画像再生されたフレームを含む複数のフレームを抽出することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のプリンタシステム。

【請求項 7】

前記フレーム抽出手段により抽出された複数のフレームのうち、前記一時停止で画像再生されたフレームのコマを他のフレームのコマより大きくレイアウトすることを特徴とする請求項 6 に記載のプリンタシステム。

【請求項 8】

前記一時停止で画像再生されたフレームのコマを中央にレイアウトすることを特徴とする請求項 7 記載のプリンタシステム。

【請求項 9】

記憶手段に保持された動画像データからユーザにより選択された動画像データに含まれる複数のフレームを記録用紙に並べてプリントするプリントシステムの印刷制御方法において、

前記記録用紙のサイズに応じてプリントすべきコマの数を決定するコマ数決定ステップと、

前記選択された動画像データから複数のフレームを抽出するフレーム抽出ステップとを備え、

前記コマ数決定ステップで決定された前記記録用紙のサイズに応じたコマ数のフレームが、前記フレーム抽出ステップで抽出されることを特徴とする印刷制御方法。

【請求項 10】

記憶手段に保持された動画像データからユーザにより選択された動画像データに含まれる複数のフレームを記録用紙に並べてプリントするプリントシステムの印刷制御方法をコンピュータにより実行するプログラムにおいて、

前記記録用紙のサイズに応じてプリントすべきコマの数を決定するコマ数決定モジュールと、

前記選択された動画像データから複数のフレームを抽出するフレーム抽出モジュールとを備え、

前記コマ数決定モジュールで決定された前記記録用紙のサイズに応じたコマ数のフレームが、前記フレーム抽出モジュールで抽出される特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、請求項 1 記載のプリンタシステムは、記憶手段に保持された動画像データからユーザにより選択された動画像データに含まれる複数のフレームを記録用紙に並べてプリントするプリントシステムにおいて、前記記録用紙のサイズに応じてプリントすべきコマの数を決定するコマ数決定手段と、前記選択された動画像データから複数のフレームを抽出するフレーム抽出手段とを備え、前記フレーム抽出手段は、前記コマ数決定手段により決定された前記記録用紙のサイズに応じたコマ数のフレームを抽出することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

請求項 9 記載の印刷制御方法は、記憶手段に保持された動画像データからユーザにより選択された動画像データに含まれる複数のフレームを記録用紙に並べてプリントするプリントシステムの印刷制御方法において、前記記録用紙のサイズに応じてプリントすべきコマの数を決定するコマ数決定ステップと、前記選択された動画像データから複数のフレームを抽出するフレーム抽出ステップとを備え、前記コマ数決定ステップで決定された前記記録用紙のサイズに応じたコマ数のフレームが、前記フレーム抽出ステップで抽出されることを特徴とする。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 8

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 0 8 】

請求項 1 0 記載のプログラムは、記憶手段に保持された動画像データからユーザにより選択された動画像データに含まれる複数のフレームを記録用紙に並べてプリントするプリントシステムの印刷制御方法をコンピュータにより実行するプログラムにおいて、前記記録用紙のサイズに応じてプリントすべきコマの数を決定するコマ数決定モジュールと、前記選択された動画像データから複数のフレームを抽出するフレーム抽出モジュールとを備え、前記コマ数決定モジュールで決定された前記記録用紙のサイズに応じたコマ数のフレームが、前記フレーム抽出モジュールで抽出されることを特徴とする。

【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 9

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 0 9 】

本発明によれば、ユーザにより選択された動画像データから複数のフレームを抽出する際、記録用紙のサイズに応じて決定されたコマ数のフレームを抽出するので、ユーザはプリント対象コマをいちいち選んだり、コマ数を指示したり、フレーム間隔を指示することなく、簡易なユーザ操作で、記録用紙を一杯に使い、動画全体を網羅し、記録用紙一枚で完結した動画ダイジェストプリントを得ることができる。

【 手続補正 6 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 0

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 0 】

好ましくは、上記決定されたコマの数よりも、ユーザにより選択された動画像データから取得された総フレーム数が少ない場合に、そのユーザにより選択された動画像データの全フレームを抽出することにより、ユーザはフレームを選択する、プリントするフレーム数を指定する、フレームを選択する代わりにフレーム間隔を指定するなどの操作に手間をかけることなく、可能ならばユーザ選択された動画像データの全フレームが表示されたダイジェストプリントを得ることができる。

【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 1

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 1 】

好ましくは、上記決定されたコマ数は、記録用紙の 1 枚にプリント可能な最大コマ数であると、ユーザは選択した記録用紙のダイジェストプリント可能なコマの数を考慮することなく、確実にダイジェストプリントを得ることができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

好ましくは、上記フレーム抽出手段が、ユーザにより選択された動画像データの最初のフレームを含む複数のフレームを抽出することにより、動画の特徴をよりよくあらわす動画ダイジェストプリントを得ることができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

好ましくは、上記フレーム抽出手段が、ユーザにより選択された動画像データの最後のフレームを含む複数のフレームを抽出することにより、動画の特徴をよりよくあらわす動画ダイジェストプリントを得ることができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

好ましくは、ユーザにより選択された動画像データを再生中に、ユーザからの指示により一時停止で画像再生されたフレームを含むフレームを抽出することにより、ユーザがダイジェストプリントに含めたいフレームを簡単に指定することができ、動画の特徴をさらによくあらわす動画ダイジェストプリントを得ることができる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

好ましくは、フレーム抽出手段により抽出された複数のフレームのうち、上記ユーザ指示により一時停止で画像再生されたフレームのコマを他のフレームのコマより大きくレイアウトすることにより、ユーザは、ダイジェストプリントに含めることを希望したフレームがダイジェストプリント中に含まれていることを確実に視認することができる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

好ましくは、上記ユーザ指示により一時停止で画像再生されたフレームのコマを中央にレイアウトすることにより、ユーザは、ダイジェストプリントに含めることを希望したフレームがダイジェストプリント中に含まれていることをより確実に視認することができる

o